※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０１

令和８年度　理科

教科	理科	科目	標準化学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

共通テスト対策として受験問題を解いていくという授業ですが､解くのは先生ではなく、生徒自身です。最も効率の良い勉強方法は、自分で問題を考え、それをほかの人に出題・解説することです。そこで生徒の皆さんには受験問題を解いてもらい、先生の立場でほかの生徒の前で解説してもらいます。もちろん定期考査もありますが、ほかの人に解説できるぐらい勉強すれば、考査問題は簡単に思えてくるでしょう。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め，目的意識をもって観察・実験などを行い，化学的に探究する能力と態度を育むとともに，化学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。

・化学の学習内容が日常生活や社会とかかわることを知り，身近な物質とその変化への関心を高める。
・主体的に観察，実験などに取り組むことによって科学の方法を学び，化学的に探究する能力と態度を身に付ける。
・化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し，活用する能力を身に付ける。
・物質に関する原理・法則の基礎を理解し，物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学と物質についての実験などを通して，物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や知識が身に付けている。	物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。	化学の特徴，物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 問題演習に意欲的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	化学と人間生活	１．化学とは何か ２.物質の構成成分と構成元素	a:物質の構成成分と構成元素の違いを理解している。 b: 物質の構成成分を元素分析の結果から考察できる。 c: 化学と人間生活のつながり関心をもち,意欲的に学習する態度を示す。	定期考査	問題集 ﾁｪｯｸ	発表態度 発表内容 発問
	物質の構成	１.原子の構造と元素の周期表 ２.化学結合	a: 原子の構造と周期表の特徴を理解できている。 b: 元素の性質からどのような化学結合によって結合しているか,またその物質の性質を考察できる。 c:化学結合と物質の性質の関係性に関心を持ち,意欲的に学習する態度を示す。	定期考査	問題集 ﾁｪｯｸ	発表態度 発表内容 発問
2	物質の変化	１.物質量と化学反応式 ２．酸と塩基 ３．酸化還元反応	a: 物質量と化学反応式の関連が理解できている。酸や塩基および酸化還元反応のしくみが理解できている。 b: 問題演習を通じて，様々な化学反応における量的関係について理論的に説明できる。 c: 様々な化学反応における量的関係について,仕組みを意欲的に学習しようとする。	小テスト	問題集 ﾁｪｯｸ	発表態度 発表内容 発問

※令和４年度以降入学生用

3	共通テスト演習	化学基礎全般	a: １・２学期の内容の知識が定着し，理解できているか。 b: 問題演習を通じて，化学的性質や化学反応を理論的に説明できる。 c:問題演習に対して意欲的に取り組めているか。	小テスト	問題集 ﾁｪｯｸ	発表態度 発表内容 発問

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度